

神戸で撮む。

神戸で撮む。

KOBE
PHARMACEUTICAL
UNIVERSITY

Campus Guide 2023

KOBE
PHARMACEUTICAL
UNIVERSITY

Campus Guide 2023



〒658-8558 神戸市東灘区本山北町4-19-1

[入試部入試課] TEL:078-441-7691 [HP] https://www.kobepharma-u.ac.jp/

最新情報はコチラから



入試情報



神研プロジェクト



Twitter



YouTube

神戸薬科大学

CONTENTS

03 STUDENTS VOICE

07 研究

13 学び

21 進路・就職

29 神薬坂の日々

37 CLUB ACTIVITIES

39 特待生・奨学金制度

40 学費 入試日程

42 OPEN CAMPUS

理念・教育目標

神薬で掴む。

化学や生物、物理、医学など、多岐にわたる分野から成り立つ「薬学」。さらにその役割は、医薬品の研究や開発、薬物治療にとどまらず、「健康についてのあらゆる領域」にかかわっているといわれています。「薬剤師」が活躍する場は、病院や薬局だけでなく、MR職(医薬情報担当者)、製薬会社や化粧品メーカーの研究職、さらには化学検査の検査・鑑定を行う科学検査研究所など、年々ますます広がりをみせています。また同時に薬剤師に求められる能力も多様化し、これまで以上に自らで課題を見つけ、解決する思考力が求められるようになりました。そのような情勢の中で神戸薬科大学では、薬剤師を目指すための学びだけでなく、研究活動にも力を入れ、さらに今年度より思考力を育成するための多彩なプログラムも導入しています。この神戸薬科大学での学びを通じ、幅広い視点から薬学の世界を見つめ、楽しみ、あなただけの未来を掴んでください。そして、あなたらしい向き合い方で、人々の健康や社会に貢献できる、薬のプロフェッショナルへと成長しましょう。



HATTORI RINAKO
4年 服部 理奈子さん
岡山県立倉敷青陵高校出身

*掲載学年は2021年度の学年です。



同じ志を持つ仲間たちと、
薬学へ意欲的に向き合う日々。

神戸薬科大学を進学先に選んだのは、「単科大学」であることには魅力を感じたからです。同じ分野を志す仲間たちと高いモチベーションを持ってがんばるのは、やはり、単科大学ならではの大きな強みだと感じています。また神戸薬科大学では、薬剤師国家試験に向けての授業だけでなく、研究をはじめとしたプラスアルファの活動も充実していて、その中でも印象的だったことは、「アクティブラボ」で臨床薬学研究室を訪れて、フィジカルアセスメントを学んだことです。現役の医師として活躍されている先生方からさまざまな病態について学ぶことで、臨床薬学についての興味がさらに強まりました。将来は、患者さん一人ひとりに最適な薬物治療を提案できる薬剤師になりたいので、今後も薬学や臨床についての知見をしっかりと深めていきたいです。

3年 藤岡 優菜さん
大阪府 常翔学園高校出身

03
KOBE PHARMACEUTICAL UNIVERSITY



研究活動に励みながら、
薬剤師に必要な思考力を磨く。

オープンキャンパスに参加した際、先輩方がとても優しく丁寧に対応してくださり、私もあんなステキな大学生になりたいと思い、神戸薬科大学を志望するようになりました。そして5年次生になった今感じている神戸薬科大学の魅力は、研究活動が活発なところです。「薬品物理化学研究室」に所属し、「全身性アミロイドーシス」の薬の研究・開発に取り組んでいます。研究では日々たくさんの壁にぶつかりますが、未知の世界を少しずつ解き明かしていくことに喜びを感じながら、また薬剤師に必要な思考力の向上にもつながっていると実感しています。卒業後の進路についてはまだ検討中で、調剤薬局や製薬会社など幅広い業種に目を向けながら、薬剤師としての専門性を存分に生かせる仕事に就きたいと考えています。

5年 森 彩香さん
兵庫県立明石城西高校出身

04
KOBE PHARMACEUTICAL UNIVERSITY



「国境なき医師団」で活動し、
世界中の困っている人に貢献したい。

薬学の道に進んだのは、中学生の頃に「国境なき医師団」で活動されている薬剤師の方からお話を聞く機会があり、その社会貢献性に強い感銘を受けたからです。同じ頃、がんを患った祖母がアレルギー反応で投薬ができなかったことをきっかけに、「誰でも使える薬」を開発したいと思ったことも大きな理由のひとつです。そして、進学先に神戸薬科大学を選んだのは、他大学と連携した授業・取り組みなど、多彩な学びがあるところに惹かれたからです。また、単科大学であるところも大きなポイントで、意欲的な仲間たちに刺激されながらがんばっています。大学生活は始まったばかりですが、将来は以前から関心のある「国境なき医師団」に薬剤師として参加し、世界中の困っている人の役に立ちたいと思っています。

1年 森田 愛怜子さん
大阪府 大阪桐蔭高校出身



多彩な医療従事者から学び、
高い専門性を育んでいく中で。

神戸薬科大学で学ぶ魅力は、薬剤師だけでなくさまざまな医療従事者の方から学ぶ機会が豊富にあることだと考えています。神戸大学医学部との共同実習や医師の方を招いた授業などを通して、臨床についての知見が広がるだけでなく、医療従事者に大切な心構えなども学べました。また今は研究活動にも熱中していて、「病態生化学研究室」に所属し、食欲を増進させる働きを持つ「グレリン」というホルモンの血中濃度を調べる研究を進めています。さらに研究が進めば「食欲不振」や「やせ」などの病因の解明に役立つものになるので、今後も力を入れて取り組んでいきます。卒業後は病院の薬剤部門に進み、最新の医療に対応できる薬剤師になれるよう、今後も日々の学習や研究を通して、より高度な知識や思考力を身につけていきたいです。

5年 白木 裕之さん
岐阜県立加納高校出身

研究

さらなる探究心と思考力を。

本学は創立以来、学生たちの研究活動にも力を入れています。

研究活動によって得られる探求心と思考力は、

研究者としてだけでなく、薬剤師としての素養を深めます。



STUDENTS VOICE

KAWASAKI MOMOKI

研究がとても盛んなところは、神戸薬科大学の特徴のひとつです。学生全員が4年次から本格的に研究室に所属し、私は「臨床薬学研究室」で「血栓症」についての研究を進めています。研究は一朝一夕に進められるものではなく、日々たくさんの壁が立ちはだかりますが、一つひとつクリアしていく中で、薬剤師や研究者に必要な探求心や思考力を養えていると感じています。また、私が所属する臨床薬学研究室は留学生が多いので、彼ら、彼らとの研究を通して、視野も大きく広がりました。今後も研究に取り組む中で、理想の薬剤師へと近づいていきたいです。

5年 川崎 百喜さん
兵庫県立姫路西高校出身

CLOSE UP
「未知」を切り拓く、研究マインドを研鑽する。

卒業研究

全員が研究室に所属し、教員による直接指導や豊富なディスカッションを通して、高度な問題発見・解決力を習得しながら、その研究における今後の展開方策を探る能力を磨いていきます。6年次には全員が「卒業研究発表会」で成果を発表します。





アクティブ・ラボ

1～3年次でも研究活動を体験！

薬学部にはさまざまな研究領域があることを入学後早期から理解するために、1年次から3年次にかけて研究室を体験します。研究活動を通して、研究に対するモチベーションを育みながら、薬学・医療の進歩に貢献できる思考力の基盤を養います。

6年間の研究活動

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
アクティブ・ラボ			卒業研究		
低年次から研究室に所属し、研究の基礎を学ぶ			全員が研究室に所属し、問題発見・解決力を醸成		

全員が研究室に所属し、実務実習以外の時間は研究室で研究活動 全員が卒業研究発表会で成果をプレゼンテーション

データで見る神戸薬科大学の研究

卒業研究配当単位数

2019年度 科学研究費

新規採択率で全研究機関中

全国8位

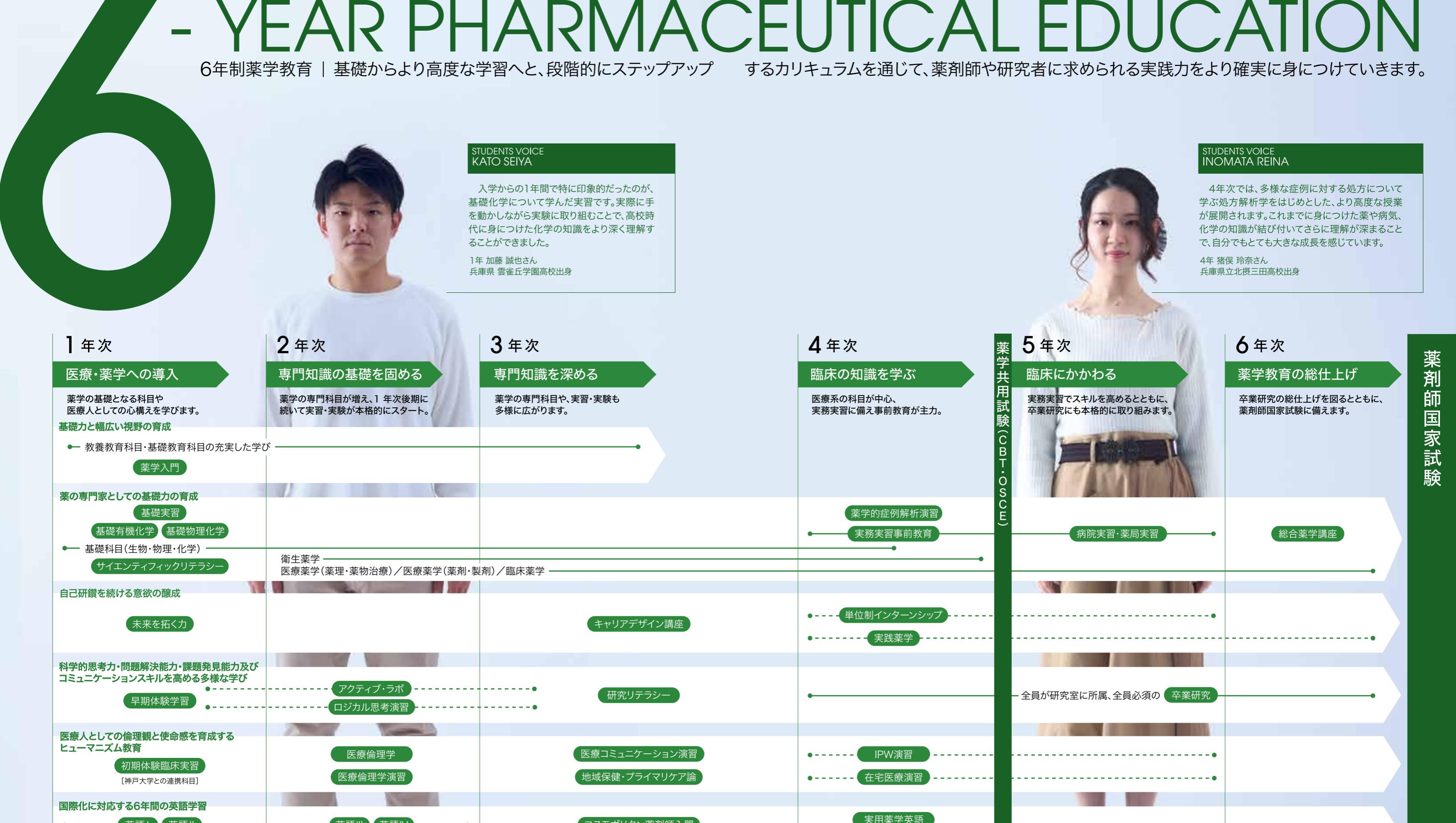
薬系大学
1位

全国私立大学
4位

西日本私立大学
1位

**23
186単位**

卒業に必要な単位の12%です。



Kobe Pharmaceutical University

OBOG

神戸薬科大学で学び、
多様な未来を切り拓いた卒業生たち。
彼・彼女たちに仕事の魅力、
これから夢や目標などについて
語ってもらいました。



職業 法化学者

兵庫県警察本部 刑事部
科学捜査研究所

兵庫県警の科学捜査研究所に勤務し、覚せい剤や麻薬、大麻といった乱用薬物、農薬をはじめとした薬毒物、自動車の塗膜、衣服の繊維などの分析を行っています。日々、分析した経験のない化合物にも多く遭遇するため常に困難が付きまといますが、それもやりがいのひとつで、さまざまな手法からアプローチし、事件や事故の真相究明に努めています。今、乱用薬物は激動の時代を迎え、世界中で新たな薬物が次々と生まれています。この事態に、より確実に対応するためにも、グローバルな視点から最先端の技術を積極的に取り入れ、法化学者として、さらに社会に貢献できるよう努力を重ねていきたいです。

2008年卒業
兵庫県立明石北高校出身
影平 俊介さん

Kagehira Syunsuke



